

# ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2002年(平成14年)11月15日 No.1244

## 目次

サハリン鉄道の近代化とモスト計画 .....	齋藤大輔 1
エトセトラ .....	11
エキスペルト社『ロシア200大生産企業ランキング』を公表 / 11	
ロシア東欧貿易会関連の行事予定 .....	11
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート .....	12

## サハリン鉄道の近代化とモスト計画

### はじめに

サハリン鉄道の近代化とサハリン・モスト計画が現在、ロシア鉄道省内で検討されている。近代化計画とは、日本統治下に敷設されたレールを撤去・交換し、ロシアと同じレールの幅に交換すること、モスト計画とは、島と大陸を鉄道で結ぶことである。事業費は近代化計画が数億ドル、モスト計画が数十億ドルで、どちらも日本を含めた諸外国の対口投資案件になる可能性のある巨大プロジェクトである。

本稿では、サハリン鉄道の歴史と現状について述べるとともに、近代化計画とサハリン・モスト計画の内容およびその問題点について論じる。なお、「サハリン・モスト」の「モスト」とは「橋」との意であるが、ここでは、島と大陸の間に鉄道線を建設するプロジェクトの総称として、「サハリン・モスト」を用いる。

### 1. サハリン鉄道

#### (1) 歴史と現状

サハリン鉄道の営業キロは2002年3月現在、957kmである。鉄道網は第1図のとおり、州都ユジノサハリンスクとその周辺の南部地域に集中する。東岸部分を縦走する東部本線、西岸部分を縦走する西部本線、両岸を結ぶ横断線の主要3線と、貨物専用の産業支線、夏季から